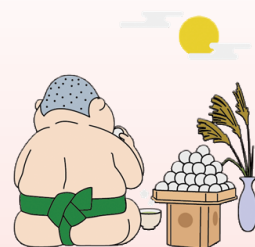




- ◆ 高松ぶどうトップセールス
- ◆ ルビーロマン初出荷・初競り
- ◆ カボチャ 部会設立後初の出荷開始
- ◆ 興津営農組合 ラジコン式草刈り機導入



「ほくの里」

支店フリーダイヤル

内灘支店 ☎ 0120-968-971
津幡支店 ☎ 0120-968-972
津幡東支店 ☎ 0120-968-973
宇ノ気支店 ☎ 0120-968-974
高松支店 ☎ 0120-968-975

「みんなのよい食プロジェクト」を推進しています。



発行/石川かほく農業協同組合
編集/リバノス編集局

石川県河北郡津幡町字清水子329番地
〒929-0326 TEL. 076-288-3331
月刊：毎月10日発行
印刷：宮下印刷株式会社

<http://www.kahoku.is-ja.jp/>



JA石川かほく



ほくほくニユース

ブランドアピール 高松ぶどうトップセールス

七月九日、金沢市中央卸売市場で、かほく市特産「テラウェア」「高松ぶどう」のトップセールスが行われました。

油野和一郎かほく市長をはじめ、今回初めて出席した山野之義石川県知事らが高松ぶどうの魅力をアピール。西川一郎当JA代表理事組合長は「天候にも恵まれ、色つやも良く、糖度の高い高松ぶどうに仕上がった。生産者が守ってきた伝統あるブランド品を意欲が高まる価格で応援してほしい」と挨拶しました。

トップセールス後には、約一・五トンが競りにかけられました。糖度や色、粒の大きさなどの基準を超えた最高ランク「特秀」二箱（一箱十房入り）は一箱五万円と、昨年と並ぶ高値で金沢市のフルーッ坂野が競り落としました。

同社の坂野浩章代表取締役は「丹精込めて栽培してくれた生産者に



高値で競り落とされた高松ぶどう

感謝したい。百年以上の歴史あるブランド品を味わってほしい」と話しました。

「高松ぶどう」は六月二十六日から出荷を開始しており、八月下旬までに約四十トンの出荷を計画しています。

能登半島地震を風化させない ルビーロマン初出荷・初競り

七月十六日、高松ぶどう生産組合は石川県産オリジナル高級ブドウ「ルビーロマン」の出荷を開始しました。

初日は、二軒の生産者が十三房を当JA高松集出荷場に持ち込みました。今年の出来について当JA営農担当者は「適度な降雨があったことで順調に生育し、大粒になった。糖度も基準を上回る高さで、色味も良い仕上がりになっている」と話しました。

翌十七日には、金沢市中央卸売市場にて初競りが行われました。かほく・加賀・小松・金沢・七尾地区から百九十一房が出荷され、そのうちの粒の大きさや色味などの厳しい基準をクリアした「特秀Gクラス」一房一キロに百万円の値がつきました。

購入したのは昨年に引き続き、東京都



競り落とされた1房100万円のルビーロマン

でフルーツ店とカフェを営む「株式会社一富士」。同社の田中聖基常務は「味や色、粒の張りも例年通り素晴らしい出来になっている。能登半島地震を風化させないために、復興へ微力ながら協力したい」と話しました。

今年は九月下旬までに県内百五軒の生産者が三万房の出荷を目指しています。

カボチャ 部会設立後初の出荷開始

J A石川かほくかぼちゃ部会は七月二十日、カボチャの出荷を開始しました。

管内では「くり大将」「栗天下」「M V 1 6 1（試験品種）」を栽培しており、初日は十軒の生産者から三品種合わせて十三・六トンが出荷されました。

晴天が続いたことから一部で日焼けによる変色や割れが確認されたものの、うどんこ病などの病害は防除の徹底により例年に比べ少なく、大きさも十分な上々の出来となりました。

当J Aでは、平成三十年から水田転作としてカボチャの栽培を推奨。今年二月には「J A石川かほくかぼちゃ部会」を設立し、計画生産と安定出荷の推進、栽培技術の改善統一を図るとともに、同じく二月には規格



初出荷を迎えたカボチャ

外品を有効活用した「石川県産かぼちゃカレー」の販売を開始するなど、さらなる所得増大と販路拡大を目指しています。

部会設立後初の出荷を迎え、種本博同部会長は「五月の圃場巡回のときから順調な生育で、品質が良く、収量も十分。検討会等を通じて、来年度はさらに栽培面積を拡大していきたい」と意気込みました。

八月上旬までに四十トンの出荷を見込んでいます。

水 田転作を推奨 排水対策講習会

七月二十九日、当J A営農部は津幡町刈安の大麦刈取り後の圃場にて排水対策及び緑肥体系講習会を開催し、水田を活用した畑作物の栽培を検討している生産者、関係者合わせて十一名が参加しました。

県央農林総合事務所職員が講師を務め、水田転作として大麦などの畑作物を栽培する場合は、排水性の良い圃場の選定が重要だと呼びかけました。

排水が良いと生育初期の茎数を確保でき、反収四百キロ以上を目指すことが可能。降雨後の圃場の乾き具合など、栽培に適した圃場の判断ポイントについて紹介がありました。

また、大麦収穫後は緑肥作物を栽培することで、土壌への窒素の補給や排水性の改良が見込める上、国の交付金制度を活用できると説明しました。



額縁排水溝の施工について話し合う参加者ら

大麦栽培を約十年続けている農事組合法人倶利伽羅の加藤紘さんは「額縁排水溝の施工など丁寧な排水対策をすれば、反収四百五十キロが確保できる。大麦を栽培しようと考えている人は一緒に頑張ろう」と参加者に声をかけました。

栽培技術を共有 コシヒカリ現地研修会

七月九日、JA石川かほく集落営農組織連絡協議会と石川かほく営農協議会は、かほく市指江の圃場で乾田V溝直播栽培の視察を兼ねたコシヒカリの現地研修会を行い、生産者・関係者約六十名が集まりました。

県央農林総合事務所職員が、生育は順調であるものの、高温による影響で元肥一発肥料の溶け出しが早まり、生育後半の肥料切れが懸念されることから栄養凋落を防ぐため追肥を行うよう指導しました。追肥施用時期については、葉色板と照らし合わせながら圃場を確認したほか、葉耳間長の見極め方についても説明しました。

乾田V溝直播栽培の視察では、今年初めて取り組んだ同市の農事組合法人ファーム指江の松橋伸治さんが生育状況や作業スケジュールのほか播種時の稼働人数、作業日数について説明。参加者は、面積に応じた農



乾田V溝直播栽培について情報を共有する参加者

業機械の種類や初期投資などについて質問し、農業者の高齢化が進むなか、労働力の省力化とコスト削減のほか作業分散が期待できる直播栽培の導入について真剣に耳を傾けました。

反収六百キロを目指して ひやくまん穀穂肥現地研修会

七月十七日、かほく市内日角の圃場で県産ブランド米「ひやくまん穀」の穂肥現地研修会が開催され、生産者・関係者ら十六名が参加しました。

今年は田植期から気温が高かったため、草丈は長く、茎数も多く推移しています。県央農林総合事務所職員からは、今後も高温が予想されるため、葉色や葉耳間長を見て上乗せ追肥を

実施し、登熟後半の栄養凋落を防ぐよう呼びかけがありました。多発注意報が発表されている斑点米カメムシ類については、ひやくまん穀は出穂が遅く、ほかの品種に比べて集中的に被害を受けやすいため、出穂期に合わせた防除を促しました。また、倒伏や登熟不良を招く「紋枯病」も発生しやすいため、昨年発生した圃場では特に徹底した防除を行うよう注意喚起しました。

生産者らは実際に稲を見て、上乗せ追肥の時期や病



葉色を確認する生産者ら

害虫防除の薬剤等について活発に意見交換を行いました。
ひやくまん穀生産者部会県央支部副支部長の大田建さんは「今のところ順調に生育している。水管理や追肥、カメムシ防除など今後の管理を徹底し、反収六百キロを目指したい」と収穫に向けて意気込みました。

防除の徹底を カメムシ類に注意

七月十七日、石川かほく営農協議会は管内三十一地点で斑点米の原因となるカメムシ類の生息調査を実施しました。

当JA営農職員ら十二名が六班に分かれ、虫取り網を使い、水田に生息するカメムシ類の数や種類を調査。一地点平均六・二頭が確認され、昨年や平年を上回る生息数となりました。

防除を行った地域の生息数は比較的低い傾向にあったものの、防除未実施や出穂している圃場では「ホソハリカメムシ」、「クモヘリカメムシ」などを確認。特に、飛翔性の高い「アカスジカスミカメ」は平均九・九頭と増加傾向がみられました。同協議会は、斑点米の発生を防止するため、生産者へ防除の徹底を呼びかけました。



水田で確認された「ホソハリカメムシ」



網で捕獲したカメムシ類の数を確認する職員ら

無人ヘリ防除で労力軽減

七月十六日から、当JA管内の水稲圃場で無人ヘリコプターによる基幹防除が始まりました。

七月中旬から八月中旬にかけてコシヒカリ、ゆめみづほ、ひやくまん穀を栽培する圃場、約千五百ヘクタールに殺虫・殺菌剤を散布します。

近年多発傾向で本年も注意報が出ている斑点米カメムシ類、ウンカ類への防除に加え、穂いもち病や紋枯病の予防効果も期待できます。

今年は五月の高温の影響で、雑草が例年よりも早期に多発しました。山崎志朗当JA営農部長は「JAへの基幹防除前のドローンによる除草剤散布依頼が増加しており、生産者の良品質米への意識は高まってきている。ドローンや無人ヘリを活用

用して生産者の労力軽減を図るとともに、基幹防除が管内全域へ広がってほしい」と期待を寄せました。



無人ヘリによる殺虫・殺菌剤の散布

集落営農に後継者を

七月二十三日、JA石川かほく集落営農組織連絡協議会は、津幡町文化会館シグナスにて「事業継承研修会」を開催し、二十二組織が参加しました。

基調講演として、福井県あわら市の(株)グリーンファーム角屋の坪田清孝取締役会長が「集落営農の担い手確保と第三者継承」をテーマに同社の取り組みについて紹介。同社では農業に意欲的な年齢の若い夫婦を担い手として受け入れており、農家の高齢化や担い手不足が深刻化している中、次世代の経営者を確保しています。農繁期だけの雇用ではなく、ダイコンやタマネギ等の栽培を開始するなど冬場の農閑期にも仕事を作り、年間を通じて常時雇用する。担い手を手放さない体制を構築。約十年で二倍近い収益が出るようになり、儲かる経営へシフトできました。また、収益が上がった分は夫婦の給与のベースアップにつなげ、モチベーションの維持を図っています。



事業継承の取り組みに耳を傾ける参加者ら

同社の取り組みは地域活性化にもつながっており、年中作業する若者の姿を見て、作業場に地元住民が集まるようになりました。参加者は第三者継承の取り組みに理解を深め、担い手確保のための経営や体制づくりの重要性を確認しました。

興

津営農組合管内初の大型草刈り機導入

七月二十二日、津幡町の興津営農組合は、管内で初めて刈幅が一メートルを超える大型のラジコン式草刈り機を導入しました。

同組合の組合員は六名で、平均年齢は約七十歳。約二十ヘクタールの圃場を管理しています。これまでは乗用草刈り機で対応していましたが、中山間地域の傾斜地での草刈り作業は危険性が高く、課題となっていました。

そこで当JA農機センターへ相談し、(株)筑水キヤニコンのラジコン式草刈り機「アラフォー傾子」を導入。最大四十五度の傾斜で走行・作業でき、約二メートルの草丈の雑草にも対応します。機体から離れた場所でのラジコン操作が可能のため、安全な場所での作業できます。

導入の後押しとなったのは、令和七年度から新たに追加された中山間地域等直接支払制度の加算措置「スマート農業加算」。スマー



傾斜面を走るラジコン式草刈り機

ト農業による作業の省力化・効率化を図るとして活用しました。津田芳彦同組合長は「離れた場所から操作できるので、炎天下で草刈り機に乗り続ける必要がなく、熱中症対策にもなる。人手不足の中でも安全第一に作業を進めたい」と話しました。

砂丘長いも 順調に生育

七月十日、石川かほく長いも部会は「砂丘長いも」の生育状況を確認するため圃場巡回を実施し、生産者・関係者ら十三名が参加しました。

現在は病害虫の被害はなく、順調に生育。県央農林総合事務所職員からは、梅雨明けから夏場にかけて「ナガイモコガ」等の害虫や炭そ病が発生しやすいようになるため、防除を徹底するよう呼びかけがあ



病害虫の発生がないか確認する生産者ら

りました。

生産者は、農薬散布時の注意点等について話し合い、今後の管理について理解を深めました。

夏のさとやまマルシェ開催

七月十九日、かほく市の道の駅高松里山館で、地元農産物の魅力を発信する「夏のさとやまマルシェ」が開催されました。

最盛期を迎えた特産品「高松ぶどう」「大崎すいか」のほか、管内で農業を営む生産者がトマトやキュウリなどを対面販売。生産者や当JA営農職員が来場者との会話を交えながらPRし、高松ぶどうを購入した同市在住の男性客は



高松ぶどうを求める来場者

「旬の地元農産物がお買い得だった。楽しく買い物できて嬉しい」と喜びました。

三年目のワイン造り 開始

かほく市のプロバレーボールチーム「PFUブルーキャッツ石川かほく」は、特産「高松ぶどう」を使用したワイン造りに取り組みます。

ワイン事業はチームの地域貢献活動の一環として始まり、今年で三年目。当JA、高松ぶどう生産組合の協力の下、摘房果を有効活用したスパークリングワイン「KAHOKU BLUE（カホクブルー）」を製造します。

七月二十一日にはワインのPR活動として、同市高松の森善ファームにて選手や監督、スタッフら合わせて三十名が高松ぶどうの収穫体験を行いました。園主で生産組合長でもある森田善明さんの指導の下、選手らはハサミを使って丁寧に収穫しました。

横田真未選手は「高松ぶどうの魅力を多くの人に知ってもらい、ブドウもワインも愛されてほしい」と話しました。



高松ぶどうを収穫する選手

今年は摘房果約一・二トンを使用し、昨年度に引き続き奥能登の（株）ハイディワイナリーが醸造します。十二月上旬の完成を目指しており、ホームゲーム会場等で販売されるほか、同市のふるさと納税返礼品としても扱います。

高松中学校 カボチャの規格外品を救う

七月二十三日、かほく市立高松中学校二年生三十二名は同市気屋の農事組合法人高峰ファームの圃場でカボチャ「くり大将」の収穫体験を行いました。

今回の取り組みは「カボチャの規格外品を救うプロジェクト」の一環として実施。近年

の高温の影響などで発生した規格外品の多面的・多角的な活用を目指します。生徒らが収穫した規格外品は、地元企業と連携し「おはぎ」や「ようかん」等の加工食品の開発、冷凍カボチャの製造を行うことで、新たな付加価値の創出を図ります。

収穫では同法人の種本博さんから組合員の指導の下、生徒らは十アールの面積にできたカボチャを一つひとつ丁寧に収穫。重さや割れ等を確認しながら規格を分け、出荷用の鉄コンテナに詰めていきま



収穫したカボチャを手取る生徒ら

した。

体験した笠置心彩さんは「農家の助けになればと、みんなで協力して頑張った。規格外でも味は美味しいので、この取り組みで少しでも有効活用できれば嬉しい」と期待を寄せました。

農業を知らう 白帆台小学校 農業体験学習

七月二日、内灘町立白帆台小学校三年生四十八名は河北潟の（株）笠間農園を訪れ、農業体験学習を行いました。

園主の笠間勝弘さんの案内の下、児童は小松菜の種まき作業を見学したほか、ハウスで栽培している赤紫蘇の色合いや匂いなどを五感で楽しみました。

小松菜の収穫や袋詰め作業も体験し、「友達より大きくて美味しそうなお小松菜を選んで収穫した。お母さんにパスタにしてみらうって食べたい」と笑顔で話しました。



収穫した小松菜の大きさを比べる児童

シーズン到来 ひまわり村

七月二十九日、河北潟干拓地の「ひまわり村」で開村式が行われ、周辺二市二町の園児ら百三十四名が参加しました。

五月にまいた種が草丈二メートルほどに生長し、約二十五万本が咲き誇りました。

園児らは、自分よりも背の高いひまわりを見上げながら、巨大迷路に挑戦。迷路の途中にある見晴らし台に上ると、一面黄色に染まった光景に歓声をあげ、順調に育ったことを喜びました。



一面に広がる景色を楽しむ園児

買 い物と会話で笑顔に 新鮮野菜市

七月二十五日、当JA宇ノ気支店はかほく市で開催された「かほく四季まつりサマーフェスタinかほく」に併せて支店前で新鮮野菜市を開きました。

同市特産品「大崎すいか」「高松ぶどう」など旬の農産物が並んだほか、野菜の詰め放題を実施。来店者は顔を合わせた地域住民や職員との会話を弾ませながら笑顔を見せていました。



工夫しながら野菜を詰める来店者

豚 輝カレーライスが大人気 つばたまつり

八月一日、津幡中央公園にて「つばたまつり」が開催されました。当JA津幡・津幡東支店は合同で模擬店「ほくの里」を出店し、かほく市特産豚肉「豚輝」をたっぷり使用したカレーライスを販売。夕方でも気温が高い日となりましたが、豚輝とタマネギの甘みが広がるカレーを、多くの大人や家族連れが買い求めていました。



カレーライスを購入した親子

美しい海浜を守る

七月五日、かほく市の海浜で地域住民やボランティア団体による「海浜一斉清掃」が行われました。

この取り組みは、同市が白浜青松砂浜の環境保全意識を啓発するために毎年実施しています。当JAからは宇ノ気・高松支店職員が参加し、約一時間かけて砂浜のゴミを拾い、海浜を美しくしました。



砂浜のゴミを拾う当JA職員

地物野菜を使った

ごはんの供 オリジナル レシピ募集!



募集期間

～令和8年9月30日まで

【最優秀賞】1点 賞金 **5万円**



詳しくは「JA石川かほく ホームページ」へ

夏の展示会・産直市 開催

七月十八日、当JA農機センター周辺で「夏の展示会」を開催しました。

新型のコンバインやトラクター、新車・中古車などを展示。来場者は当JA職員に農機具の機能について質問するなど、熱心に説明を聞いていました。また、コシヒカリ玄米三十キロが特別価格で販売され、開始前から来店客が長蛇の列を作っていました。

展示会に併せてJAグリーンかほくでは十八日から三日間、「産直市」を開催。十九日には、ミニトマトの詰め放題が行われ、来場者は一つずつ丁寧に詰めていきました。店舗入り口では、日曜日恒例の「新鮮朝市」が開かれ、キュウリやナスなどの夏野菜を産直会員が対面販売。来店客は、産直会員との会話を楽しみながら野菜を手に取り、買い物を楽しんでいました。



トマトの詰め放題を楽しむ来店客



農機具の性能について説明を受ける来場者

令和8年 秋期 農業用灯油・軽油のお知らせ

平素は当JA給油所をご利用いただき誠にありがとうございます。

10月31日まで農業用灯油・軽油を受付いたします。

掛け売り(店頭・配達)の価格より

4円引き

※現金・クレジット価格よりの値引ではありません。

津幡セルフ給油所 TEL 289-3221
宇ノ気給油所 TEL 283-5035

農機センター 日曜・祝日の営業について

令和8年 **8月16日(日)**～

令和8年 **9月27日(日)**までの

日曜・祝日は**臨時営業**いたします。

お問い合わせ先

農機センター

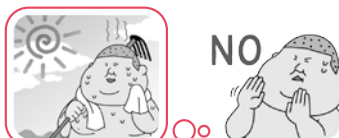
TEL : 076-288-4170

熱中症対策 について

夏場の暑い中での作業は、熱中症を引き起こすおそれがあるので、次の事項に注意して下さい。熱中症の予防は、水分をとることと体温の上昇を抑えることが大事です。高齢の方は、特に注意してください。

暑さを避ける

高温時の作業は極力避けて日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に
こまめに水分・塩分を補給

早めの水分補給
なんだな～



単独作業は避ける

複数名で作業する
時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用
空調服や送風機の活用



新たに就農された方や家庭菜園を行っている方など、 JA 石川かほくの正組合員になりませんか？

正組合員の 資格要件

- ✓ 農業を営む個人であって、当JA地区内に農地がある方（借地も可）
- ✓ 1年のうち30日以上農業に従事し、住所または農地が当JA地区内にある方

加入・資格変更の手続き → 最寄りの支店にてお手続きください。

届出事項の変更や相続等の手続きはお済みですか？

組合員届出事項や資格要件に変更が生じた場合は、届出が必要です。次のいずれかに該当する方は、最寄りの支店へお申し出ください。

- ✓ 届出されているお名前・ご住所等の変更
- ✓ 死亡・転居による資格の喪失
- ✓ 就農・離農による資格の変動 など

出資予約貯金の廃止に伴う手続きについて

当JAでは、「出資予約貯金」の取り扱いを中止することとしております。まだ手続きのお済みでない方は、最寄りの支店窓口にて出資配当金の入金先変更及び、出資予約貯金の解約等の手続きを行って頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ JA各支店、または本店総務部総務課 TEL 076-288-3331

組合員からの理事に関する 情報提供窓口の設置について

当組合の監事会は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）および当組合監事監査規程（第16条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話または封書にて下記宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

石川かほく農業協同組合 監事会

連絡先

- 住 所 〒929-0326 石川県河北郡津幡町字清水チ329番地
- 電話番号 (076) 288-4179
- 部 署 名 監査室
- 受付監事 常勤監事 田中 光博 宛

お電話の場合は、月曜日～金曜日、午前9時～午後3時にお願いします。

※当組合の業務に関する一般的な相談や苦情については、下記窓口を設置しておりますので、そちらをご利用ください。
※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

お客様 相談窓口

- 住 所 〒929-0326 石川県河北郡津幡町字清水チ329番地
- 電話番号 (076) 288-3331
- 担当部署 総務課

- | | | |
|-----------------|--------------|---------------------|
| ◆金融に関するもの | 担当部署 金融共済部 | 電話番号 (076) 288-2323 |
| ◆共済に関するもの | 担当部署 金融共済部 | 電話番号 (076) 288-3914 |
| ◆営農・経済・販売に関するもの | 担当部署 営農部・経済部 | 電話番号 (076) 288-7555 |

この他、各支店・事業所で受付けております。

令和7年度 ディスクロージャー誌(情報開示)について

JA石川かほくの令和7年度における決算内容や事業内容について、情報開示を行います。

QRコードより
ご覧ください



スパイスで体の内側から肌ケアを

管理栄養士・フードスタイリスト 大槻万須美

まだ暑さの続くこの時期はエアコンによる乾燥、紫外線や汗による肌荒れなど、特に肌にとって過酷な時期です。日焼け止めや保湿などのスキンケアに加えて、手軽に内側からの肌ケアをしてみませんか。スパイスは手軽に取り入れやすく、肌の健康を内側からサポートするさまざまな成分が含まれています。

■ターメリック

カレーなど黄色の色付けとしても知られ、強い抗酸化作用を備えています。野菜・魚介料理と相性が良く、ヨーグルトサラダのトッピングに使うこともあります。少し苦味があるため、同じく強い抗酸化作用を持つコリアンダー（パクチー）などと併せてトマトスープに入れると、栄養素や味のバランスも整いやすくなります。オリーブ油やバターでスパイス類を炒めてから煮込むと香りも良く、吸収率もアップしますよ。

■コリアンダー（パクチー）

種子を使用します。強い抗酸化作用を持ち、肌の張りをサポートするビタミンCを含みます。魚や鶏肉の下味付けや、マヨネーズとあえて

サラダの風味付けにお薦めです。

■シヨウガ

抗酸化・抗炎症作用で知られ、血行促進効果や消化促進作用も期待できます。知らず知らずのうちに冷えてしまった内臓を温め、肌の健康ケアに役立ちます。

私は少量すりおろして蜂蜜と一緒にホットティーに加えています。生そのまま使った抗酸化作用が高まりますが、刺激が強いくので多くても小さじ2分の1程度に抑えましょう。

■シナモン

抗酸化作用や抗炎症作用で肌トラブルの予防効果が期待されます。料理・ドリンク・スイーツなど、オーイルマイティーに使われますが、実は野菜や肉料理にもよく合います。

なお、多くのスパイスは、体質や体調によって刺激を受けやすく過剰摂取や胃腸が弱っているときの使用には気を付けましょう。自身に合う種類や量を見つかるためにも、少しずつ試すようにしましよ



ほのぼの だより

次の目標

今から七年ほど前の七十三歳のとき、ある日突然、私の体がいふことをきかなくなりました。

いつものように洗濯物を取り込み、玄関を上がろうとした瞬間にめまいがして倒れました。病院で検査を受けると「脳梗塞」と言われ、まさか自分がと大きなショックを受けました。発見が早かったので「リハビリを頑張りましょう」と励まされ、すぐに開始しました。

それまでは自分の足で歩いていたり、自転車で買い物に行ったり、友人と出かけたりと自由に暮らしていたので、思うように体が動かないことを受け入れるのは簡単ではなく、本当に大変でした。

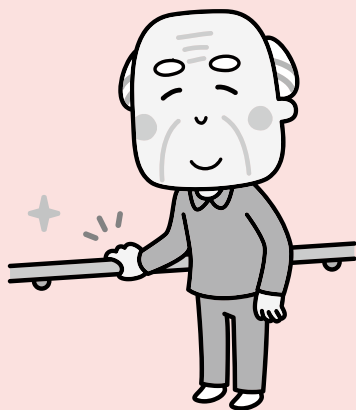
でも、リハビリの先生は小さな目標を立ててくれました。ひとつ

達成するたびに「すごい！できたね」といつも前向きな言葉をかけてくれました。おかげで、また次も頑張ろうという気持ちになれました。

右側の麻痺は残りましたが、無事退院して家に戻ると、私が生活しやすいように玄関やトイレ、ベッドの周りに手すりがついており、驚きました。最初は「こんなおおげさな」と思いましたが、とても使いやすく、準備してくれた家族や病院の方に感謝です。

今は自宅で体操を続け、デイサービスでリハビリを頑張り、友人と出かけられるまでになりました。次の目標は、杖を卒業して自分の足で歩くことです。

ほのぼのヘルプ利用者より



たくさんの笑顔が生まれますように

ほのぼのデイサービスでは、7月7日に「七夕イベント」を開催しました。

1週間以上前から利用者と一緒に準備を進めてきた七夕飾り。女性利用者の方は文字に想いを込めて、短冊に「また、お父さんと一緒になれますように」とゆっくり丁寧に書いていました。またある方は、天井を見上げ思い浮かべたあと、短冊に真剣に向かい「家族が皆、健康でいられますように」と書き込んでいました。折り紙で星なども作り、壁に飾りつけすると、ほのぼのデイサービス全体が一気に華やかな雰囲気になりました。利用者が短冊を嬉しそうに指差して微笑む姿が印象的でした。

昼食には、特別メニュー「七夕そうめん」を用意。白とピンクの素麺を天の川に見立て、星形の人参やきゅうり、錦糸卵を散りばめた目でも楽しめる食事にしました。お膳が運ばれてくると、利用者は「わ

あ、きれい」「可愛くて食べるのがもったいないわ」と目をキラキラと輝かせていました。見た目だけでなく、暑い日にぴったりの冷たい素麺にいつも以上に箸が進んでいました。

みんなで笑って、楽しい1日となりました。私たちスタッフの願いは“この場所でたくさんの笑顔が生まれること”。この願いが叶うよう、スタッフも毎日笑顔で皆さんを支え続けます。

ほのぼのデイサービス スタッフ一同



星形の具材が目玉を引く七夕そうめん



季節の食事を楽しむ利用者



私の趣味

かほく市 西村 早智子さん

私の趣味は「フレッシュテニス」です。

30年前から続けているバドミントンサークルの仲間が教えてくれたことがきっかけで始めました。

フレッシュテニスは富山県発祥の生涯スポーツで、柔らかいスポンジボールとテニスよりも短いラケットを使い、屋内でプレーします。ラケットを下や横から振るので、肩を痛めにくく、年齢を重ねても長く続けられます。

現在は週に1回仲間と集まり、暑い日も寒い日も楽しくプレーしています。スマッシュが決まったときや、思い通りのカーブがかかったときはとても気持ちが良く、思わず笑顔になります。

なによりの魅力は、仲間との出会いです。プレーだけでなく、おしゃべりやみんなで旅行することも楽しみのひとつです。

もうすぐ85歳になりますが、これから仲間と一緒に“よく喋り、よく笑い”100歳まで元気にプレーを続けていきたいです。



通信 vol.15

うちのうまいもん食べてって!!



齊藤 銈雄さん(祖父)・武志さん(孫)

祖父の畑を中学生の頃から手伝っています。現在は会社員として働きながら、土日に農業をしています。急に引き継ぐことはできないので、今のうちから少しずつ経験を積んでいます。「やらなければ」と思っていたわけではなく、

昔から農業が好きで、気づいたら畑に足を運んでいました。

91歳になる祖父も、今なお元気に農業をしています。「継ぐ」と言葉に出したことはありませんが、畑に立つ姿で祖父にも私の思いが伝わっていると思います。祖父が喜んでくれていることが、私にとっても嬉しいです。

今の時期のおすすめは、水ナス、千両ナス、泉州水ナスです。漬物業をしているので、特に水ナスの栽培に力を入れています。こだわりは、剪定をこまめに行い、長く実をつける株に育てることです。害虫対策も徹底しながら、10月末まで出荷しています。漬物はもちろん、焼きナスに醤油をかけ、しょうがを添えて食べるとナスのジューシーさが味わえます。

祖父とともに育てたナスです。そくさいかんで見つけた際はぜひ、**うちのうまいもん食べてって!!**

家族で楽しむおいしい一皿

食欲の秋！キノコの味、食感、香りを楽しむ

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

キノコのうま味の相乗効果を味わう

キノコスパゲティ



アレンジ

- ナメコやマッシュルームを使用する
- 刻みのりや大葉などをのせる

ポイント

キノコは栄養や食感、香りを逃さないために洗わずに調理しましょう。③で蒸し煮にすることでキノコのうま味を引き出します。

材 料 (2人分)

好みのキノコ……	250g(※)	オリーブ油……	大さじ1
ベーコン……	40g	赤唐辛子……	適宜
小ネギ……	5本	しょうゆ……	大さじ1
スパゲティ……	180g	バター……	10g
塩……	大さじ1+2つまみ	こしょう……	適宜
ニンニク(みじん切り)……	1片(5g)		

※今回はシメジ小1パック、マイタケ1パック、エリンギ1/2パックを使用

作り方

- ① シメジは石突きを切ってばらしておく。マイタケはそのままばらし、エリンギは食べやすい大きさにカットする。ベーコンは幅1cmに、小ネギは長さ4cmにカットしておく。
- ② 湯2L(材料外)を沸かして塩(大さじ1)を入れ、スパゲティを袋の表示時間通りにゆでる。
- ③ フライパンにニンニクとオリーブ油、赤唐辛子を入れて弱火で加熱する。香りが出たらキノコとベーコン、塩(2つまみ)を入れ、軽く炒めたらふたをしてしんなりするまで中火で2分加熱する。
- ④ しょうゆとバター、小ネギ、スパゲティのゆで湯を大さじ2入れて炒める。ゆで上がったスパゲティを入れて絡め、塩(分量外)・こしょうで味を調えて皿に盛り付け、出来上がり。

うま味の強いエノキタケが主役。
味見でなくなってしまうおいしさ！

エノキタケの唐揚げ



アレンジ

- Aにおろしショウガを加える
- Aに青のりを加えて磯辺風に

ポイント

エノキタケの先端を程よくばらすとカリッとした食感になります。揚げやすいので低めの温度で揚げましょう。

材 料 (2人分)

エノキタケ・小パック(100g)	片栗粉……	適量
大葉……	黒こしょう……	適宜
おろしにんにく……	レモン……	適宜
A 酒……	大さじ1	
しょうゆ……	大さじ1	

作り方

- ① エノキタケは石突きを切って10等分(大葉の枚数分)に分けてAを混ぜ合わせたものに絡め、片栗粉をまぶし付ける。
- ② 大葉に片栗粉をまぶして①に巻きつける。
- ③ フライパンや揚げ鍋に2cmくらい油(材料外)を入れて熱し、②を入れ160度でカリッとするまでひっくり返しながらかける。お好みで黒こしょうを振り、レモンを添えて出来上がり。

料理レシピ募集

ご家庭で簡単にできる、地物・旬の食材を使ったレシピを募集しています。
投稿くださったレシピをリバノスやホームページで紹介したいと思いますので、皆さんのご自慢料理を送ってくださいね！
また、いろいろな食材の保存方法をご存知の方も、併せて募集しています。
たくさんのレシピをお待ちしております。

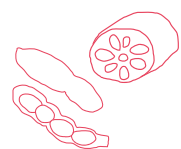
募集方法 (封書でお送りください。)

1. 住所、氏名、電話番号
2. 料理名または食材名
3. レシピまたは保存方法 (簡単にお書きください。)
4. 一言コメント ※1～5の事項を必ずご記入ください。
5. 写真

宛先

〒929-0326
河北郡津幡町字清水チ329
JA石川かほくりバノス編集部

※レシピが多い場合は、リバノス編集部で選定させていただきます。



楽しもう 家庭菜園

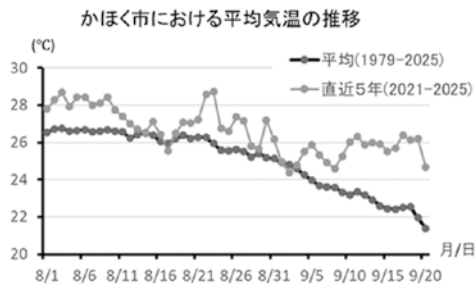


毎日暑い日が
続き、菜園の野
菜もバテ気味で
すね。

◎酷暑はいつまで続く？

新たに「酷暑日」という用語ま
で登場しましたが、いつになれば
涼しくなるのか、かほく市のアメ
ダス観測値で調べました(図参照)。

過去四



が、ここ数年の平均値では九月に
入ってもまだまだ暑さが続く傾向
にあります。秋野菜の種まき時期

は少し遅くしてもいいかもしれま
せんね。

さて、子供の頃、私が夏休みの
宿題でいつも最後まで残すのが読
書感想文と自由研究でした(笑)。

今回は、「大人の自由研究」と
称して、我が家の菜園で「ひげ」
について調べたので報告したいと
思います。

◎トウモロコシのひげ

①「ひげ」の役割

トウモロコシは「ひげが茶色く
なってきたら食べ頃」と言われて
いますが、そもそもトウモロコシ
の「ひげ」って何でしょう？

ひげはトウモロコシのめしべに
あたり、「絹糸(けんし)」と呼ば
れます。

植物はめしべに花粉がつく(受
粉)と、めしべの元が膨らんでい
き実となっていくきます。

トウモロコシも「ひげ」に花粉
がつくことにより、ひげの元が膨
らんでトウモロコシの粒(実)に
なっていくのです。



②「ひげ」の数

一本のひげの元に粒がひとつつ
くということは、ひげの数と粒の
数が一致するということになりま
すね。

そこで、本当にひげの数と粒の
数が一致するかどうか調べてみま
した。

ひげの数を調査したところ、五
百七十二本でした。粒を数えよう
としましたが難しかったので、一
列の粒数と列の数を数え、推計し
てみたところ、五百二十八粒とな
りました。

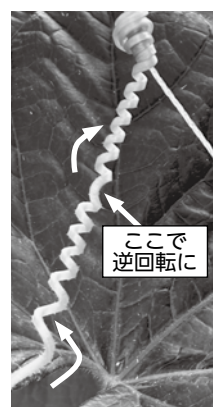
粒が一部抜けていたり、列ごと
に粒数が異なっていたりと、完全
一致とはなりませんでしたが、そ
こそ一致することがわかりまし
た(笑)

◎きゅうりのひげ

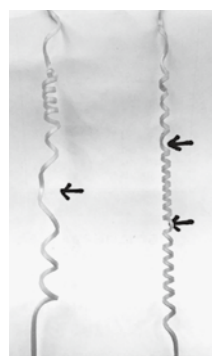
きゅうりは「巻きひげ」と呼ば
れるひげで支柱やネットに巻きつ
く性質があります。ネットを片付
ける際、なかなか外せないくらい
強い力で巻きついていきますよね。

この「巻きひげ」をよく観察す

ると、らせんを描いて巻いていま
すが、途中で巻き方が逆になっ
てくるものがありました。



いろいろ観察すると、逆回転に
なっているもの、ならないもの、
回転方向が二回も変わるものなど、
いろいろあることがわかりました
が、その理由は文献を調べてもわ
かりませんでした。



きゅうりの巻きひげ
(矢印箇所が逆回転に)

巻きひげは、枝や葉の変形した
もので、ネットや支柱に触れた刺
激で巻きつきます。巻きひげがら
せん状になっていることで、風で
揺れても伸縮し、切れずにしっか
りと固定され、少しでも太陽の光
を浴びようと上へ伸びていくので
す。

こんな風に、植物をよく観察す
ると面白いことに気付きます。さ
て、そろそろ私もひげをそり、顔
を洗って出直しましょうか！

秋の花を長く、冬の鉢花

土屋 照二

今夏も高温が続きました。九月になっても残暑が厳しそうです。草花も暑さのため元気がなくなっていることでしょう。しかし植物は人より敏感に秋を感じて、夏バテから回復していく時期です。花たちが元気に長く咲くように手助けをしてあげましょう。また手持ちの暮れから観賞する花の手入れも大切です。

◆秋の花を長くもたす

秋の花の多くは、夏から咲き続ける種類です。夏に元気のなくなつた花も九月になると回復してきて、管理が良ければ中下旬にはきれいに咲きそろいます(図1…令和七年九月二六日、小松市)。種類によっては下旬には衰えるもの



図1

もありますが、夏から継続して管理すれば沢山花を咲かせます。

(管理一・水やり) 地植えではかなり乾くまでは、水やりの必要はありませんが、乾燥がひどい場合にはたっぷりと与えます。毎日水やりをしている場合は、根が深く張っていないこともあるので、極度に乾かさないようにします。プランターや鉢植えでは毎日の水やりが必要ですが、水のやり過ぎに注意しましょう。

(管理二・肥料) 多くの種類で、当地では十一月上旬まで成育しながら花を咲かせます。成育のための肥料が必要です。定期的に肥料やりをしている場合は、そのサイクルを続けて十月下旬に肥切れするようにします。他の場合は緩効性化成肥料を九月上旬と十月上旬に地植えなら1㎡当り五十〜百gを、標準的なプランター植えなら三十〜五十gを土表面に与えます。粒状の緩効性肥料を使わずに液肥の三百〜五百倍液を週一度かん水代わりに与えても良いでしょう。

(管理三・花がら摘み) タネを着

ける種類では、実のために多量の栄養分を必要として、株の衰えに繋がります。可能なら傷んだ花は摘み取りましょう。県の「花いっぱいコンクール」で、八月中旬に株の半分程度まで刈り込んで秋に一斉に開花をそろえる例を見かけますが、刈り込みから約一か月は花が見られません。暑い時期に刈り込むと、枯れることもあります。また、刈り込み時期や温度状況によっては咲かずに終わることもあります。

◆手持ちの冬鉢物

手持ちの鉢物で暮れから観賞するシクラメン、シャコバサボテン等は今月にしたい作業があります。

(シクラメン) 夏も成育していて、現在葉が着いている株は、中旬以降に鉢から抜いて、鉢土の周囲三分の一〜半分取り除き、新しい用土(中粒赤玉土・腐葉土二：一、等)で、成育が良ければ一回り大きな鉢に、そうでなければ同じ大きさの鉢に植えます。葉の着いてない株は、古土を全て落としてから鉢に植えます。いずれの場合も球根の頭は土から出して植えます。

(シャコバサボテン) 肥料やりを

やめて、水を控えます。彼岸ごろ先端の茎節を全て取り除きます(図2)。十月になれば先端にツボミができます。その後大きな温度変化をさせないようにします。

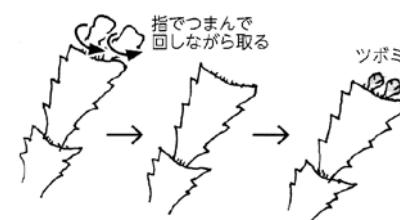


図2

(ポインセチア) 色づくのは花の付属物の苞です。花が着かなければ着色する苞はできません。夕方五時ごろから翌朝九時ごろまで暗黒(図3…段ボール箱を利用)に置いて、花を着ける必要があります。九月初めから末まで処理すれば良いでしょう。日の長さ以外に温度が高い(昼三十度)ことと、肥料が効いていることが必要で、そのため家庭では八月中旬が処理の開始時期になりますが、九月初めでも間に合います。



図3

お便り OTAYORI コーナー

毎月、レシピを参考に料理しています。これからも簡単で美味しいレシピをお願いします。津幡町 山崎 洋子
ご愛読ありがとうございます。料理レシピ「家族で楽しむおいしい一皿」は、毎月多くの方から好評をいただく人気のコーナーです。旬の作物を使っているだけでなく、手に入りやすい食材で、家庭にある調味料で作ることができるのは、手軽で嬉しいですね。美味しくできたらまた教えてください。

「子どもたちの農業体験」いろんな学校で田植え体験などを一生懸命に頑張っている姿に感動しました。ひまわりやかほくくも楽しみです。味噌づくりも将来きっと役に立つと思います。津幡町 多田 史代
デジタル化が進む今の時代の子どもたちに

とって、外に出て土に触れるという経験は貴重になってきています。だからこそ、農業体験では生き生きとした表情を見ることができののかもしれません。一つひとつの体験が、食や農業への関心につながってくれと嬉しいですね。収穫体験の様子もお伝えする予定ですので、ぜひ楽しみに。

6月15日で車を止めました。バスを利用して目的地まで歩くことで、いろんな家の花を見て心が和み、楽しくなります。アジサイのさし木がとても参考になり、さっそく実行。楽しみです。津幡町 永多 澄枝
いつもの景色も、歩いてみると新しい発見がありますね。「この家はこんな花が咲いている」と季節の移り変わりを眺めながら歩く時間は、穏やかで癒される時間になりそうです。永多さんのアジサイも元気に育つことを願っています。暑い日が続きますので、お出かけの際は無理をせず、体調に気を付けてください。

畑の小さな侵入者に手を焼いています。ナメコジ、アリ、カメムシ、テントウムシ…。かほく市 鶴見 雅美
人間の方がはるかに大きいですが、小さな侵入者たちの手強さには悩まされますね。どこからともなく現れ、気づいた時には作

物にしっかり跡を残しています。小さな侵入者たちとの戦いはまだまだ続きそうですが、勝利を祈っています。

居間から見える「つくばい」に水をポツン、ポツンと落としています。先日、少し藻が浮きはじめてたので、一旦水を止めて掃除をし、水の入替えをしました。すると、見知らぬ「つがい」らしい小鳥や雀たち、それに蜂までもが水を飲んだり水浴びに来て、目を楽しませてくれました。わかるのですね。

かほく市 杉本 慶子
お便りを読んでいるだけで情景が目には浮かび、心が癒されました。少しの変化にも気づき、丁寧に手入れされている様子が伝わってきました。手入れされた「つくばい」は生き物たちにとって、ほっと一息つける心地のよい場所になっていることでしょう。これからも自然との出会いを楽しんでください。

その他、たくさんのお便りが届いています。紙面の都合上、全員の方のお便りを載せることができない場合もございます。ご了承下さい。実名で載せていただいておりますが、匿名希望の方は明記してください。お便りをお待ちしております。

<お便りのあて先>

〒929-0326 河北郡津幡町字清水チ329
JA石川かほくりパノス編集局

題「読」

秀

政治家の笑顔の裏の手が読めず

井田 宏子（井野河内）

評 住みよい町づくりにために、政治家は道路の新設や改良を考えています。老朽化の上下水道の整備も考えています。未来を背負う青少年の育成も考えています。少年高齢化時代の福祉のあり方についても考えていることでしょうか。無限に広がる課題について、日々努力をされているのが政治家です。選挙と言いつつ試練を笑顔と握手で乗り越える大変な職業だと思えます。裏金を作りませんように！

佳作

左から右まで読んで傍観者

古林 照子（長柄町）

積ん読がつもりつもって粗大ゴミ

山崎 直樹（上矢田）

あの人の心読みたい恋病い

池田ひろみ（夏栗）

四五手先読むプロ棋士の凄印象

永下 茂和（坂戸）

新聞を一番に読む死亡欄

北岡しづ子（内日角）

入選

音読も隣り迷惑考える

上前セツ子（白帆台）

読書して安眠さそう秋夜長

吉田 順子（川尻）

新聞はお悔み欄から読み始め

越野 香（二ツ屋）

老夫と晴耕雨読日々気まま

山崎 洋子（横浜）

図書室で静かに読んだ本の数

藤沢 充子（瓜生）

洞庭 泰選

読み聞かせ添い寝の母が先に寝る

鈴木 準一（北中条）

大好きと心読み取る孫娘

米田 英雄（向栗崎）

耳遠く生きるかてにと読書する

岡井 昭江（二ツ屋）

朝一番新聞読むのが我が日課

永多 澄枝（牛首）

おみくじは健康運から先に読み

前山優美子（太田）

見るよりも読む楽しみが奥深い

堂川 武久（領家）

本好きに図書館最高読み放題

兼保 直美（湯端）

読み始め母の指先声になり

藏本 義弘（横浜）

読み書きがボケる防止と休みなく

川端 春美（狩鹿野）

子供たち立ち読みしては大目玉

山崎 邦夫（横浜）

年老いて読み書きするはボケ防止

中川 義孝（領家）

顔色を読むのがうまいポチとミケ

小田みさと（兵庫）

書き出した不安ノートを読み返す

小田たけとし（兵庫）

十二月号題「湯」三句マデ

●締切り 九月十日必着

十二月号題「茶」三句マデ

●締切り 十月十日必着

△投句先▽

〒929-0326 津幡町川尻ヨ七十八

洞庭 泰宛

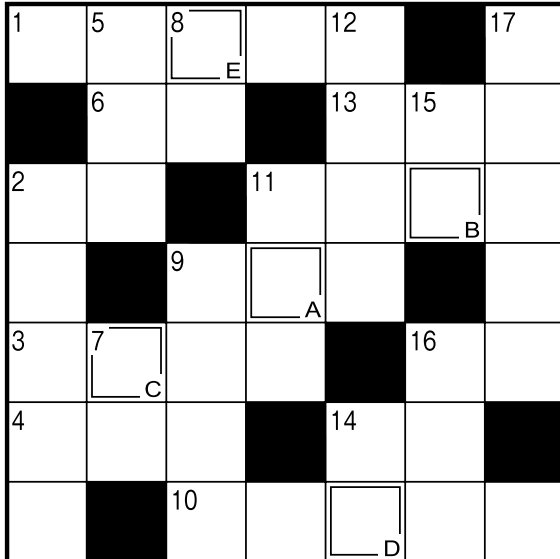
※投句の際、住所・氏名をお書き忘れのないようお願い致します。



クロスワード クイズ 頭の体操??

Q

二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- 1 秋らしい風情の雲。魚の名前がつきます
- 2 天・地・——
- 3 大酒飲みのこと
- 4 先手が黒、後手が白を使います
- 5 さつま、里、こんにやくといえ
- 6 でこぼこの進みづらい道のこと
- 7 音楽にのれる人に備わっているもの
- 8 アルバイト、グミ、カルテといった言葉の元はこれ
- 9 形態——はものまねの一種
- 10 サギソウもデンドロビウムもこの仲間
- 11 ゆっくりつかって疲れを取ります



タテのカギ

- 2 ススキや月見団子を供える行事
- 5 ブドウを使って仕込む酒
- 7 エックスとゼットのあいだ
- 8 カミの反対
- 9 北海道の市。監獄があったことで有名
- 11 悪いものが入っていないか、先に食べて証明します
- 12 高橋真梨子のヒット曲『——吐息』
- 14 羊の肉はマトン。子羊の肉は
- 15 落花生にはタンパク——も豊富に含まれます
- 16 鹿児島県の桜島は活発に繰り返しています
- 17 はえば立て、立てば歩めの——

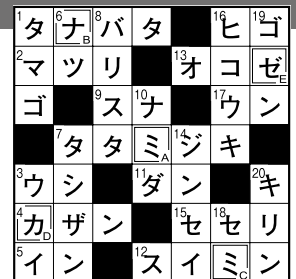
PRESENT

- ◆応募方法 ハガキに①答え②住所・氏名・電話番号③本誌に対するご意見・身近な役立つ情報などをご記入の上、下記あて先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に1,000円分の商品券をプレゼントします。
- ◆あて先 〒929-0326 津幡町字清水チ329 JA石川かほく「リバノス編集部」
- ◆応募締切 9月10日（消印有効） ◆当選発表 リバノス11月号

7月号クイズ当選者

【答え】 ミナミカゼ

高道 榮治 さん
山本 節子 さん
本田 祥子 さん
中谷紀美代 さん
山下由美子 さん



第4回 理事会だより

令和8年7月28日(火)開催

●審議事項

- 第1号議案 令和8年度会計監査人との監査契約（電子契約）の締結について
- 第2号議案 令和7年度ディスクロージャー誌（情報開示）について
- 第3号議案 理事と組合との契約承認（購買取引）について
- 第4号議案 令和7年度米共同計算最終精算と結果の生産者開示及び令和7年度米の生産調整に係る非主食用米の最終精算について
- 第5号議案 令和8年度米共同計算の実施単位、収入・支出項目の設定について

●報告検討事項

- (1) 各委員会の開催報告について
- (2) 令和8年6月末事業概況について
- (3) 令和8年度第1四半期監事監査結果について
- (4) 組合員からの情報提供窓口の明示について
- (5) 令和8年度第1四半期内部監査の実施報告について
- (6) 令和8年度会計監査人監査期中Ⅰの監査日程について
- (7) 理事と組合との契約締結報告について
- (8) 不祥事再発防止計画取組状況報告について
- (9) 令和8年度第1四半期コンプライアンス関連事項の報告について
- (10) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項の報告について
- (11) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- (12) 仕組商品基準該当に関する報告について
- (13) 令和8年度第1四半期余剰金の運用状況報告及び運用限度報告について
- (14) 令和8年度第2四半期余剰金の運用方針について
- (15) 令和8年度第1四半期組合員の加入及び脱退状況について
- (16) 令和8年度米集荷販売要領及び特定米穀取扱要領の制定について
- (17) 令和8年度ライスセンター・カントリーエレベーター稼働計画について
- (18) 令和8年度検査計画について
- (19) 株式会社JAアグリサポートかほく事業進捗状況について
- (20) 令和7年度場所別損益について
- (21) その他

支店活性化委員から、こんにちは!

内灘町の野菜で地元を元気に

内灘支店活性化委員、委員長 笠間勝弘です。

河北潟で農園を営んでおり、年金受給日に支店来店者へお渡しする粗品の「小かぶ」や「小松菜」などを提供しています。近年はJAグリーンかほくなどの直売所への出荷に力を入れており、枝豆やシソなど、お客さんの要望を踏まえた作物も栽培するようになりました。幅広い品目の野菜を作ること、お客さんや地域の需要に応えたいと思っています。

支店活性化委員も協力して毎年開催している「元気内灘とれたて市」は、町内外の方が集まる人気のイベントとなっています。内灘町は農業があまり盛んな地域ではありませんが、イベントを通して地域住民の皆さんに地元で育った野菜の美味しさや魅力をアピールしていきたいです。

内灘支店活性化委員長

笠間 勝弘



JA共済

アンパンマン 交通安全キャラバン

ANPANMAN
CARAVAN



それいけ!
アンパンマン
©やなせたかし/フレイベル館・TMS・NTV

アンパンマンと
交通ルールを
学ぼう!



日時 2026年10月17日(土) 1回目 11:00～(開場10:00) 2回目 14:00～(開場13:00)

場所 津幡町文化会館シグナス

石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地

参加無料
チケット制

主催: JA石川かほく

お問い合わせ先: 076-288-3914 (金融共済部 共済課)

応募期間: 2026年8月1日(土)～9月18日(金)

応募方法 参加ご希望の方は、右記の2次元コードよりお申し込みください。
応募多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

応募はこちらから

- ・当選メールがチケットの代わりとなります。入場時に画面の提示をお願いいたします。
- ・チケットを他人に譲渡したり、金品に交換することはできません。



※ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業および各種サービスの提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JAおよびJA共済連は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。
※状況により開催内容が変更または中止となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。その場合はJAホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。
※カメラやビデオカメラでショー内容を撮影するのはご遠慮願います。※個人によるトラブルや事故については、主催者は責任を負いかねます。